

# 衆議院環境委員会ニュース

平成 26.10.17 第 187 回国会第 2 号

10 月 17 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 環境の基本施策に関する件

・望月環境大臣（原子力防災担当大臣）、小里環境副大臣、高橋環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 浮島智子君（公明）

- ・東日本大震災から 3 年半が経過した中で、風評被害払拭のため福島の方々には多大な努力をされている。東日本大震災を風化させず、全国あげて福島復興を支援していかななくてはいけないと考えるが、政府の情報発信の在り方について、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・漂着ごみの回収及び処理は自治体にとって大きな課題となっている。今後の回収処理に支障が出ないように来年度以降も財源を確保する必要があると考えるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。

### 近藤昭一君（民主）

- ・泉南アスベスト訴訟において、国の責任を認める最高裁判決が出された。これを受けて、国の責任と切り離された行政処分となっている現行の健康被害救済制度を見直す必要があると考えるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・福島第一原子力発電所における現場作業員の被ばく線量管理については、元請会社ではなくて、東京電力が責任を持って一元的に管理すべきであると考えているが、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・2020 年以降の新たな国際枠組みにおける我が国の温室効果ガスの削減目標の設定時期及び目標値の見通しについて、望月環境大臣に伺いたい。

### 河野正美君（維新）

- ・徹底した省エネルギーと再生可能エネルギーの最大限の導入を進める方針の中で、九州電力が再生可能エネルギーの新規受け入れを中断していることについて、望月環境大臣の見解を伺いたい。
- ・屋久島では、ニホンジカの亜種であるヤクシカの個体数の増加に伴い、森林の下層植生の裸地化が進み森林生態系等への影響が生じているが、この点について望月環境大臣の見解を伺いたい。

### 新原秀人君（維新）

- ・新規規制基準に基づく適合性審査の中で、想定外の自然災害対策の考え方について、原子力規制庁に伺いたい。
- ・九州電力川内原子力発電所が再稼働し、その純利益を享受できるとした場合、再稼働によって得た純利益を国全体で再分配し、多額の国費を投入している東京電力福島第一原発事故の対策費用に充てるべきとの考えについて、資源エネルギー庁の見解を伺いたい。

### 林宙紀君（維新）

- ・国が指定廃棄物の最終処分場を設置することとなっている 5 県に対して、処分場建設に伴う地域振興策として平成 26 年度予算のうち 50 億円を充てる方針と聞くが、その算定根拠及び参考にした例があれば伺いたい。
- ・指定廃棄物の最終処分場の設置について、設置受入れに伴う風評被害が出ると考えられるが、これに対して、どこまで国が責任をとるのか小里環境副大臣の見解を伺いたい。

### 伊藤信太郎君（自民）

- ・宮城県大和町の指定廃棄物最終処分場候補地は、自衛隊の実弾訓練演習地から 600 メートルしか離れていないが、候補地に着弾する可能性はないのか、また、安全対策を行っているのか、防衛省に伺いたい。
- ・指定廃棄物の最終処分場の設置については、候補地の検討が他県よりも進んでいる宮城県でも、環境省と地元との認識に齟齬が生じるなど様々な問題が存在している状況である。速やかに検討を進めるためには放射性物質汚染対処特措法及び同法に基づく基本方針を見直すべきと考えるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。

### 田沼隆志君（次世代）

- ・千葉県は、手賀沼下水処理場で一時保管されている指定廃棄物について、発生元の松戸、柏及び流山の 3 市

に対し、平成 26 年度末までに引き取り、各自治体で保管するよう要請したが、運搬及び一時保管のための費用の財政支援について、望月環境大臣に確認したい。

- ・廃棄物処理施設を安定的に運営するため、廃棄物処理施設に対する循環型社会形成推進交付金の交付率を、一律 2 分の 1 にすべきと考えるが、望月環境大臣の見解を伺いたい。

## **野 間 健君（無）**

- ・2010 年度と比べ、2012 年度の電力分野での温室効果ガスの排出量は約 1.1 億トン増加しているが、この原因をどう分析し、排出削減に向けてどのような対策を考えているのか、環境省に伺いたい。
- ・再生可能エネルギーの新規受入れの中断が生じるなど、再生可能エネルギーの限界が表面化してきていると考えるが、高橋環境大臣政務官の認識を伺いたい。